

# ふるさと応援団木島平会会報

## 親子で木島平の冬遊び

2月23日、姉妹都市の調布市の親子35人が来村し、ケヤキの森公園で雪遊び体験が行われました。当日は、村の親子も一緒に参加し、かまくら作りや肥料袋を使ったそり遊び、内山和紙の原料となるこうぞの木を用いたスキー作りを行いました。あいにくこの日は、今冬一番の寒気の影響で吹雪となる最悪の天候でしたが、参加した親子は、元気いっぱい雪の中を駆け回っていました。中には「吹雪も貴重な体験です。木島平の冬の厳しさや雪国での生活の大変さがわかりました。とても勉強になりました。」との声もあり、普段できない雪体験に大満足の様子でした。



▲農業用の肥料袋をお尻に敷いて、雪悪の斜面を滑り下りる子どもたち。悪天候でも元気は一番です。



▲こうぞスキー製作の様子。

【写真右】かまくら作りの様子



### ☆☆☆ 会員のみなさんのコメントをシリーズとして紹介します ☆☆☆

#### 自然劇場きしま平と私 vol.2 岡田庸利(和栗出身)

「こら！炬燵にばかりへってねーで、ちっとずくだして道ふみしてこいや」とせわれて、昨夜降った大雪のため「ふんごみ」に「かんじき」をつけて、屋敷の周りの道ふみした記憶が、今でも鮮明です。朝日が輝く銀世界は、寒さを忘れる素晴らしい光景でした。冬には「丈夫石」の上で、藁はたきをしながら、祖母から、「今日の仕事は、明日に延ばすな」



「人と会ったら、先に笑顔で挨拶しろ」と厳しく躰けられました。「どうろくじん」子ども達が集まり、夜は炬燵を持ち込んで、餅を焼いて食べながら、上級生のY談に近い色々な面白い話を聞きました。一月十四日の夜は、松明で火をつけ、赤々と燃え上がります。私の書初めの火の粉は、さっぱり上上がりませんでした。そのせいで、今でも字は下手です。

「山羊の乳搾り」：一日に朝と夕方2回搾りました。私の担当です。この乳搾りはなかなか難しく、熟練が必要です。山羊に好かれるように、乳房を揉んでやるのが重要です。そうでないと、山羊に蹴飛ばされてしまいます。私が乳を搾るときは、目を細めて、沢山出してくれました。このほか「やしやうま」「しやうぶはたき」「子どもの獅子舞」「こすげの市」など、限りなく思い出します。

下の写真は、今の和栗の我が家です。隣の藤沢さんに面倒見ていただいています。お盆に帰省すると、屋敷の畑には、とうもろこし、じゃがいも、枝豆など沢山作っておいてくださいます。温かい人情です。パノラマランド木島平の専務をしていた「瀧澤幸世君」は小学校時代からの親友です。彼は木島平村活性化のために、全力を投入しました。昨年十二月惜しくも、突如鬼籍に入ってしまった。残念でなりません。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



### ☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

#### 池の平区

地区のテーマ 農業と観光の融合、豊かなしぜんとの共生 (将来像)

池の平区は、もともと開拓地であり純農村地域としての歴史が長い地域です。

近年、林道の拡幅と山ノ内町への開通、ホテルシユエネスベルクややまびこの丘公園建設など観光業との関わりを考えざるを得ない環境の中で、環境に合った農業を作り上げて行くか、また違う形で観光と関わっていくのか、難しい選択の時を迎えています。

そうした中で、まずは農道、排水路を整備し、鳥獣害から農作物を守る術と、自然との共生を考え、施設農業を進めていくの一つの道かと思われます。

また、他区と同様に、高齢化・後継者問題を抱え、現在11戸35人の住民が、通いの農業後継者とともに、新しい池の平を模索しています。観光業との融合を含めて、一歩も二歩も前進していくために、豊かな自然環境を守りながらがんばっています。



▲区内から望む広大な農地と高社山



▲ジュニアサッカー場で開催されるJリーグアカデミー

#### 【副村長人事】

3月17日の村定例議会において、副村長人事案が承認されました。これにより4月1日付で、戸梶晃輔氏(総務省職員)が副村長として着任されます。

戸梶 晃輔(とかじ こうすけ) 34歳

平成8年4月 自治省行政局公務員部給与課兼大臣官房総務課

7月 岡山市町村課

9年4月 同 財政課

10年4月 自治省大臣官房総務課

11年7月 同 行政局選挙部選挙課

12年7月 同 行政局選挙部選挙課主査

13年1月 総務省自治行政局選挙部選挙課主査

8月 同 自治行政局選挙部選挙課調査係長

14年4月 滋賀県企画課参事

15年4月 同 商工観光政策課長

16年4月 同 予算調整課長

18年4月 内閣府沖縄振興局総務課課長補佐

信州木島平 田舎いい仲間交流サイト

信州木島平「い〜なか交流館」

木島平村を愛してくださる会員の皆様一人ひとりの活力が加わることで小さな村にとっての『大きな力』となり『元気の源』となります。小さな村の『むら』となって、村づくりに参加してみたいかがでしょうか。

詳しくは、下のサイトにアクセスしてください。

信州木島平「い〜なか交流館」  
http://www.kijimadaira-fan.jp